

報道機関各位

長岡市商工部産業イノベーション課  
バイオエコノミー担当課長

バイオエコノミーな  
食の提供も！



長岡市

## 会員は4社増、バイオサロンの成果を2社が発表 長岡バイオエコノミーコンソーシアム総会を開催

長岡市は、一昨年国が公募した「地域バイオコミュニティ」に認定され（全国6自治体、関東甲信越地区では唯一）、バイオエコノミー<sup>\*</sup>社会の実現に向け、未利用資源の利活用などさまざまな施策に取り組んでいます。

市内外の産学官金で構成する「長岡バイオエコノミーコンソーシアム」は設立から3年目となり、会員は昨年から4社増の42団体となりました。今年度は、昨年引き続き生ごみバイオガス発電センターで生じる発酵残渣の肥料効果を確認する実証実験などを行うとともに、産学連携による新たな事業や新産業の創出を支援していきます。

今回の総会では、会員企業2社が昨年のバイオサロンをきっかけに生まれた事業・計画の事例発表を行います。つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

### 令和5年度

### 長岡バイオエコノミーコンソーシアム総会・事例発表会

- 日時 6月6日（火）午後2時～4時
- 場所 アオーレ長岡 大会議室（長岡市大手通1-4-10）  
※現地のほか、オンライン参加あり
- 内容 (1) 令和4年度事業報告、令和5年度計画（案）について  
(2) 会長あいさつ（磯田長岡市長）  
(3) 事例発表・意見交換 ◎午後2時50分頃から
  - ・共創の場の整備・始動 ～中核大学リージョナルGX共創イノベーションセンター、ミライエ長岡ギャラリーラボ～（長岡技術科学大学・小笠原渉教授）
  - ・バイオコミュニティ未来創造都市ながおかの可能性
  - ・バイオサロンの成果発表、意見交換（(株)ハママンフーズ、(株)セブン-イレブン・ジャパン 長岡地区事務所）
- 参加予定者 68人（現地58人、オンライン10人）

※バイオエコノミー…バイオテクノロジーや再生可能な生物資源などを利活用し、持続的で、再生可能性のある循環型の経済社会を拡大させる概念

問い合わせ：産業イノベーション課 宮島  
TEL0258-39-2402